



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟 編集・発行人 東京都文京区後楽 1-7-12 〒112-0004 林友ビル6階 電話 03(3818)2906 FAX 03(3818)2907 毎月1回1日発行 定価・年3,000円 (会員は会費に含まれています。)

第50回JAS製材品普及推進展示会 四社に農林水産大臣賞

全国木材市場組合連合会、(一社) 全日本木材市場連盟は、第50回JAS製材品普及推進展示会の表彰式・記念講演会を令和2年2月10日(金)、木材会館の会議室(東京都江東区新木場)で開催した。表彰式には、受賞関係者の他、信田聡審査委員長(日本木材加工技術協会会長)、本郷浩二全木連副会長、守屋長光全市連会長、草野洋全買連事務局長ほか主催三団体の役員など多数が出席。また、来賓として、農林水産省大臣官房食品製造課伊藤里香子基準認証室長、林野庁木材産業課土居隆行木材製品技術室長等の行政の方々にご出席を頂いた。全木連の本郷副会長は、主催三団体を代表し、本年度の展示会開催にご協力をいただいた関係者への謝辞、本日の各賞の受賞者への祝辞を述べ、これからの家づくり建物づくりには消費者の信頼を得ることが大切、JASはその役割を果たすものであり、今後ともJAS製材品の普及に取り組み生産者のご努力に応えていきたい等挨拶した。

審査結果の講評

信田委員長より、次のとおり審査の報告を頂いた。

JAS展は本年度で50回を迎えた。JAS展の目的は、①JAS製材品の流通の拡大、②需要者・消費者への普及、③製品品質の改善、④生産技術の向上・合理化、⑤取引の単純公正化及び消費の合理化の推進などである。今回は昨年9月から10月に、(株)津山総合木材市場、熊本木材(株)九木センター、(株)東海木材相互市場大口市場、東京中央木材市場(株)、丸宇木材市売(株)北浜市場の5会場に御協力いただき実施した。

出品状況は、工場数は57工場、出品量は573m、内訳は、機械等級区分製材が26、目視等級区分製材が31。審査結果は、農林水産大臣賞が4点、農林水産省大臣官房賞が12点、林野庁長官賞が16点、主催三団体(全木連、全市連、全買連)の各会長賞計が10点のほか、優良開催市場表彰が4市場、買方間屋表彰が5間屋となった。評価の点数は、上位12工場が満点であり、この内訳は、機械等級が11、目視等級が1。今回は新たな取り組みとして、各工場の取組実態を参考とするため、補足資料として、一過去年における公共工事等へのJAS



「信田委員長の講評」

材納品実績」や「地域の木材産業発展に資する取組」について提出していただいた。受賞された方々に心よりお祝い申し上げる。JAS展の課題としては、出品工場・出品数量の減少傾向、同一工場の受賞傾向、目視等級と機械等級の得点差、審査の減点方式などがあると考えている。今回は第50回ということで、今後のJAS展のあり方を検討する良い機会であった。今後ともJAS製材品を盛り立てていくために皆様のご協力をお願いしたい。

表彰

伊藤基準認証室長に農林水産大臣賞と大臣官房賞の贈呈を、土居室長に林野庁長官賞を贈呈していただいた。主催団体賞は、本郷全木連副会長が贈呈し、優良開催市場への感謝状は守屋全市連会長が贈呈した。(詳細は、別掲のとおり)

来賓祝辞

伊藤基準認証室長から、「今回の受賞

者の皆様に心よりお祝い申し上げます。また、本展示会を主催されている3団体並びに関係者の皆様には、日頃よりJAS制度の普及・発展に多大なるご協力を賜り御礼申し上げます。JAS製材品を普及させていくためには、製造工程、及び品質の適切な管理を行った上で、強度性能が明確で需要者からの信頼が得られるような製品を供給していただくことが大変重要。JAS制度及びJAS規格については、社会の様々な情勢の変化に対応して、求められる制度・規格としていくために適宜の見直しを行っていくことが重要。SDGs、ESG投資といった環境を重視する流れが社会的に強まっており、木材利用の重要性はこれまで以上に高まっていくと考えている。また、昨今の建築行政の動向、特にZEHをめぐる制度改正の方向性に注目していく必要がある。製材JAS規格については、令和6年の見直しを控え、議論が進められていると承知。農林水産省としても製材JASをはじめとした林産物JAS規格について、利用者からのニーズ、製造をされる木材業界の皆様からのご意見もしっかりお聞きし、利用者に安心して使ってもらえる規格づくり、信頼あるJAS制度の普及に向け、より一層努力する所存であるので、皆様方からのご協力をお願いいたします。」旨の渡邊毅農林水産省大臣官房長からの祝辞を代読頂いた。

続いて、土居木材製品技術室長から、「今回の受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げます。JAS展主催の3団体並びに、信田審査委員長をはじめ本日御参集の皆様方には、平素より木材利用の拡大、木

材産業の発展、木材流通の活性化・円滑化にご尽力頂き御礼申し上げます。さて、我が国の森林・林業につきましては、人工林の多くが成熟し本格的な利用期を迎える中、「伐って、使って、植えて、育てる」といった持続的な資源の循環利用を通じて、林業・木材産業の成長産業化と森林の適切な管理を両立していくことがますます重要になってきている。最近では、SDGsへの貢献やESG投資といった観点から、木材利用について経済界等から注目が集まる中、林野庁としては、都市(まち)の木造化推進法に基づき、関係省庁をはじめ幅広い関係者と連携して、公共建築物のみならずこれまで十分に木材が使われてこなかった非住宅分野などにおける木材利用の拡大に取り組んでいる。特にJAS製材品に関しては、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算において、品質・性能の確かなJAS製材の利用を拡大するため、JAS製材工場への整備支援に加え、JAS構造材を実証的に利用する場合に部材調達費の一部を支援することとしている。御参集の皆様が引き続きJAS製品の積極的な普及推進に御尽力いただくこと、JAS認証工場の皆様がJAS格付技能の研鑽、製材技術・製品品質の更なる向上に励まれることを期待している。旨、織田林野庁長官の祝辞を代読頂いた。

【農林水産大臣賞】 () は 県 名

- 大林産業(株)製材工場(山口県)、
- 山下木材(株)製材工場(岡山県)、
- (株)香澤製材所製材工場(秋田県)、
- 熊本モルター加工事業協同組合加工工場(熊本県)



「農林水産大臣賞表彰」

【農林水産省大臣官房長賞】

- 高知おおとよ製材(株)本社工場(高知県、東濃ひのき製品流通協同組合第二工場(岐阜県)、(有)倉地製材所製材工場(岐阜県)、八幡浜官材協同組合製材工場(愛媛県、(株)オオコーチ勢和工場(三重県)、牧野木材工業(株)本社工場(岡山県)、院庄林業(株)久米工場(岡山県)、丸川木材(株)製材工場(茨城県)、(有)清水製材工場(熊本県)、中国木材(株)鹿島工場(茨城県)、外山木材(株)今町工場(宮崎県)、(株)東海木材相互市場大口工場(愛知県)

【林野庁長官賞】

- (株)山長商店 内地材工場(和歌山県)、
- 小林製材(株)本社工場(岡山県)、(株)佐藤林業 製材工場(熊本県)、伊藤林産(有)製材工場(岐阜県)、(有)菊池製材所製材工場(岩手県)、(株)丸七ヒダ川ウッド製材工場(岐阜県)、齋藤木材(有)製材工場(三重県)、鳥越工業(株)製材工場(岡山

- 県)、(株)かつら木材商店製材工場(和歌山県)、(協)兵庫木材センター製材工場(兵庫県)、金子製材(株)製材工場(埼玉県)、(株)日田十条製材工場(大分県)、(株)佐藤製材所第三工場(宮城県)、田村木材工業(株)本社工場(広島県)、宮内林業(株)製材工場(宮崎県)、(株)武内製材所製材工場(大分県)

【団体会長表彰】

- 越井木材工業(株)関東工場(茨城県)、サウスウッド宮崎協同組合 木材加工流通センター(宮崎県、東北木材(株)製材工場(秋田県)、(有)森製材所製材工場(岐阜県)、飛騨高山森林組合新宮工場(岐阜県)、恵那小径木加工協同組合製材工場(岐阜県)、(株)田上下仁柿工場(三重県)、(有)マルヒ製材製材工場(岩手県)、グリーンウッドタクミ協同組合ウッドピア工場(三重県)、河井林産(株)鏡野工場(岡山県)

【優良市場表彰】

- (株)津山総合木材市場(岡山県)、熊本木材(株)九木センター(熊本県)、(株)東海木材相互市場 大口市場(愛知県)、丸宇木材市売(株)北浜市場(埼玉県)

【記念講演会】

続いて、信田審査委員長から「製材品品質について思うこと―乾燥材を中心に技術的側面から―」と題して御講演いただいた。主な項目は以下のとおり。

住宅に未乾燥材を使った場合の竣工後のトラブルの発生割合と発生時点、米マツ・横架材の含水率と収縮(未乾燥材含水率30%から気乾管含水率15%まで乾燥した場合の収縮、梁成300mmに対して10mmの収縮が起こる)、不具合事象と木



「優良市場表彰受賞者」

材乾燥1床の傾斜(床の傾斜レベルと瑕疵の存在の存在との相関関係)、住宅の瑕疵と木材(未乾燥梁と通し柱等)、根太に起因する床鳴の瑕疵(根太が高含水率のため、乾燥して大引きから浮き上がる)、木材の品質評価が変わる(含水率の表示、ヤング率の測定表示)、主要構造部材の含水率は20%以下(屋外であれば室内であれば、木材が使われる空気環境温度、湿度)と平衡する含水率まで乾かすことが、乾燥における仕上げ含水率の基本的考え方)、平衡含水率ある空気温度、相対湿度下で平衡に達した時の含水率。気乾含水率―大気温度、湿度と平衡に達した時の含水率(日本では15%に決めている)。

収縮(木材の収縮は方向により大きく異なる)、狂いの対策(低めの温度で乾燥する。積積み上部に荷重をかける)、割れの対策(乾燥初期の湿度を高くして、厚さ方向の水分傾斜を大きくしない。乾

燥に伴う割れは必ずしも強度低下をもた
らすとはいえない。乾燥条件と強度、
含水率計と含水率基準
まとめ(乾燥してある材、強度が明ら
かとなっている材が、付加価値として価
格的に適正に評価されて使用される環境
を熟成していかなければならない。(= 良
いものを高く売る)



「講演会の様子」

第26回全市連国産材需要 拡大製材品特別展示会開催 木曾官材市売(協)

全市連、木曾木材工業協同組合及び木
曾官材市売協同組合は、1月28日(土)、
第26回全市連国産材需要拡大製材品特別
展示会を開催した。来賓は、関口高土中
部森林管理局長、大畑俊隆長野県議会議
員、中宿恵司木曾地域振興局林務課長、
麥嶋照幸長野県木材協同組合連合会副理
事長、青木正伸木曾森林管理署長ほか。

開会にあたり主催者を代表し、全市連
の鈴木善一朗副会長は「脱炭素社会実現
に向け林業や木材利用の役割が注目され
ている。国産材の良さを多くの消費者に
理解して頂くことが需要。優良材の価値
を最大限に引き出せるよう皆様方と力を
合わせて取り組んで参りたい。」と挨拶
した。木曾官材市売協同組合の勝野智明
理事長は「長官賞の天然木曾松は、樹齢
300年の歴史から作り上げられた、無
節・色合い・年輪の目通りの良さと、凛



「林野庁長官賞表彰」



「林野庁長官賞受賞材」

凛とした存在感が評価された。」等の審査
講評を行った。来賓の関口中部森林管理
局長からは「受賞者への祝辞、日頃の御
礼と併せて、(高国)木曾ひのきや信
州プレミアムカラマツなど、高齢級人工
林の価値を高めて、天然材材と同等品と
して市場に定着させていきたい。今年の
初市で全品のお買い上げを願いたい。」
旨の御挨拶を頂いた。

入賞者は以下の通り。

- ◇林野庁長官賞 天然木曾松 柁盤池田木
材(株) ◇長野県知事賞 天然木曾松 柁盤
材(株) ◇中部森林管理局局長賞
材(株) ◇全市連会長賞 天然木曾松 板盤
材(株) ◇木曾ひのき 鴨居一式のむら木
材(株) ◇全市連会長賞 天然木曾松 板盤
材(株) ◇志水林業製材 天然木曾松 板盤
材(株) ◇長野県木協連理事賞
賞 天然木曾松 鴨居(有滝正木)

式典後の初市には200㎡が出品さ
れ、約80人の買方様が参加し活発な競り
が行われた。天然木曾松(耳付板) 特選
(全市連会長賞) 3・5m×72・0cm×
6・0cmに400万円/㎡、天然木曾松



「初市の様子」

(柁盤) 赤特選5・8m×23・0cm×
10・5cmに250万円/㎡の高値が付い
た。総売上額は2,960万円、平均単
価30万5千円と、前年を大幅に上回り、
コロナ禍から経済が正常化に向かう中、
市況は好調な結果となった。

第45回茨城県木材まつり 表彰式開催

茨城県木材協同組合連合会(野上満正
会長)は、2月14日、第45回茨城県木材
まつり表彰式を開催した。来賓として、
茨城森林管理署金谷範導署長、茨城県農
林水産部磯野隆行林政課首席検査監ほか
来賓等多数が出席した。全市連からは柱
本専務が出席。

野上会長の式典挨拶、来賓の茨城森林
管理署金谷署長、茨城県農林水産部磯野
首席検査監からの祝辞の後、昨年11月8
日に(株)ミトモクにおいて開催された茨城
県優良木材展示会製材材の部の入賞者の表
彰及び感謝状の授与が行われた。

製材品入賞者は次のとおり。

- ▽農林水産大臣賞 下地用(有)渡部製材所
- ▽林野庁長官賞 構造用(株)林産
- ▽関東森林管理局局長賞 構造用(株)鉦田製材所
- ▽茨城県知事賞 構造用(有)吉成木材
- ▽茨城県農林水産部長賞 下地用(株)美和利産
- ▽全木連会長賞 下地用(有)川井商店
- ▽全市連会長賞 下地用(株)野上製材所
- ▽製材品感謝状授与者は次のとおり。
- ▽茨城県知事(株)本田
- ▽関東森林管理局局長(株)前川林業
- ▽茨城県農林水産部長(資)浅川木材
- ▽全木連会長(株)筑波材木店
- 全市連会長(有)大山材木店

■東京中央木材市場が酒々井インター藤里市場開設 オープン記念市を開催

東京木材市場(株)(飯島義雄社長)は、千葉県浦安市から同富里市に本社及び市場を移転し、昨年12月12日に酒々井インター藤里市場を竣工、本年2月4日に同市場の開設オープン記念市を開催した。記念市には来賓の五十嵐博文富里市長をはじめ、500名を超える関係者が集まった。記念式典の挨拶で飯島社長は、関係者のご支援とご努力への謝辞の後、「木材利用を見ていただけるよう本社棟などを木造建築にした、使用した木材は全て浜間屋の皆様調達していただい



「飯島社長挨拶」

た、木材の利用が見直されてきており、木材にはセラピーの効果もある、本日も集りの皆様と連携して、無垢ウッドファースト社会の実現を目指したい」と述べた。

市場施設は、敷地面積が2・4ha、本社棟、展示棟、休憩棟の3棟が木造建築、林場、問屋事務所棟、木材倉庫、木材加工棟など6棟が鉄骨造となっている。

本社棟の構造材は、スギKD材とカラマツ集成材、柱、土台にヒノキKD材を使用。本社棟1階の事務室には、奈良、和歌山、三重、長野、茨城、千葉、東京と産地の異なるヒノキの無垢材180mm角の柱を使用し、その横にその柱の端材を配置し、年輪がみられるように展示した。事務所の受付カウンターは、秋田、和歌山、鹿児島産のスギ一枚板をつないで設置。展示棟は、木製テーブルや板の展示のみならず、木製トラス構造の美しさを見せる役割も担っている。飯



「木造の本社棟」

島社長は、将来的には、建築士やデザイナー、家具、木工業者など幅広い層に無垢の木材を見てもらい木材の活用を提案していきたいとしている。これらの木造の施設に利用された木材のCO2固定量は140・5トンとされている。



「展示棟」



「オープン記念市の様子」

雑記帳

トルコには仕事で何度か訪れたことがあるのでこの度の大惨事には胸が痛む。親日国で明治23年に親善のために軍艦エトウルル号が訪日したが、台風に遭遇し和歌山県串本町の大島に座礁、流れ着いた乗組員を

島民が懸命に救助した。このことはトルコの学校の教科書で紹介されたので串本町の名を知るトルコ人は多い。1985年、テヘラン空港に日本人が取り残された際には、トルコ航空の旅客機が日本人を救った。○ヨーロッパに隣接し影響を受ける一方、イスラムの国でオスマン帝国の長い歴史を誇る国でもある。アジアの一員との意識も強い。多民族国家だが、もとは中央アジアの遊牧民族が西進して建てた国。トルコ語はアルタイ語族なので日本語と主語、述語、目的語の語順が同じで、目的語の後に、を、に、などの助詞が付くことも同じだ。古代ローマ帝国の滅亡をもたらしたゲルマン人の大移動は、東方のフン族が西進したために起こった。フン族の王にアッティラという人がいたが、トルコに出張した際、同じ名前の人に会ったことがある。フン族がかつて支配した広大な地域の地図を誇らしげに見せてくれた人もいた。○料理は日本人の口に合うものが多く、ケバブは良く知られている。魚の揚げ物は日本とほぼ同じでビールによく合う。GODIVAのチョコを作っており、ベルギーのものよりリーズナブルで出張土産である。被災地の人々が一日も早く安心して生活できるように祈る。